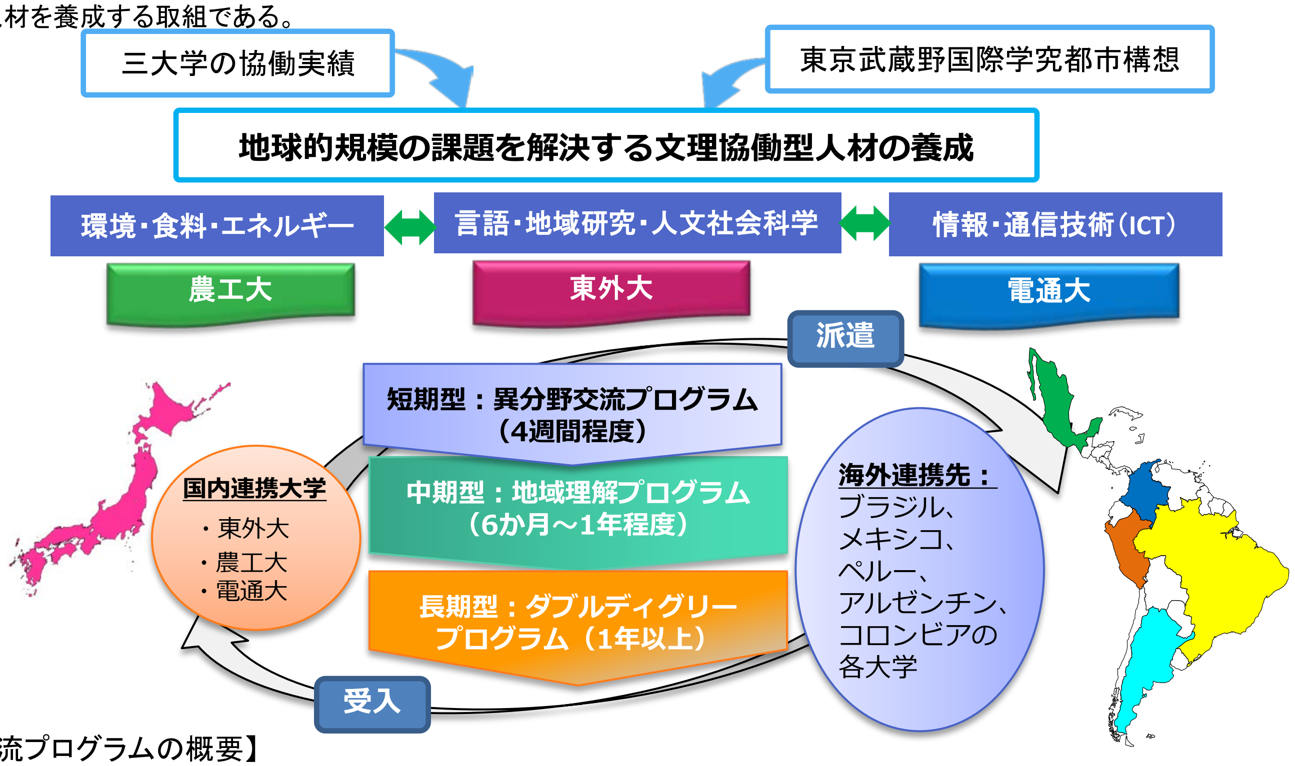
大学の世界展開力強化事業（平成27年度採択）東京外国語大学、東京農工大学 電気通信大学 取組概要

【事業の名称】（選定年度27年度・主たる交流先（中南米））
日本と中南米が取組む地球的課題を解決する文理協働型人材養成プログラム

【事業の概要】
「日本と中南米が取組む地球的課題を解決する文理協働型人材養成プログラム」は、中南米諸国で取り組むべき地球規模の課題、例えば環境、資源エネルギー、食料、社会・経済開発等の課題を解決するために、東京外国語大学（以下「東外大」という。）、東京農工大学（以下「農工大」という。）及び電気通信大学（以下「電通大」という。）の3大学が連携して実践型グローバル人材を養成する取組である。



【交流プログラムの概要】
短期型：4週間程度の異分野交流プログラム
中期型：6か月から1年間の地域理解プログラム
長期型：ダブルディグリープログラム

【本事業で養成する人材像】
本事業では、真の国際人として活躍できる実践型グローバル人材を養成する。
・東外大：語学力を活かし、科学技術を含め総合的な観点から、中南米諸国が直面する課題を把握する能力もち、課題解決のためのチームを編成し、マネージメントできる能力をもつ人材。
・農工大・電通大：中南米諸国が直面する課題を把握する能力をもち、環境・食料・エネルギー・ICT分野で持続可能な開発をけん引する能力をもつ人材。

【本事業の特徴】
東外大、農工大及び電通大の3大学が連携して実践型グローバル人材を養成することを目的とする。真の国際人・リーダーになるには、文化・言語・リベラルアーツと実践的な科学技術の知識を有し、幅広い国際的な視野を持ちながら現地が直面する課題を解決する能力を備えることが不可欠である。中南米諸国の社会経済の発展に貢献するため、東外大の強みである言語、リベラルアーツ及び地域研究の研究教育力、農工大の強みである環境・食料・エネルギー分野の研究力・技術力及び電通大の強みである情報・通信技術（ICT）分野の研究力・技術力を結集し、本プログラムを実施する。

【交流予定人数】

	H27								H28								H29							
	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe
学生の派遣	1		2		2	5			2		8		4	10		1	3		10		3	13		1
学生の受入	1		1		1	7			1		9		1	13		1	1		9		1	18		1

	H30								H31							
	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe
学生の派遣	4		10		4	16		1	3		10		4	17		1
学生の受入	1		9		1	23		1	1		9		1	23		1

A:アルゼンチン Bo:ボリビア Br:ブラジル Ch:チリ Co:コロンビア M:メキシコ Pa:パナマ Pe:ペルー